

ヘルスプロモーション活動論

保健師コース必修
看護師コース選択

開講年次：4年次前期

科目区分：演習

単 位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：ヘルスプロモーション活動の歴史・目的、根拠となる理論などを理解する。また、個人や地域全体の健康づくりを支援する看護活動、保健活動、関係機関との連携、環境整備や施策について理解し、看護職が果たす役割と機能について考察する。

■**到達目標**：①ヘルスプロモーション活動の根拠となる理論・目的・施策について説明できる。
②各分野における活動の実際を学び、ヘルスプロモーションの理解を深める。
③ヘルスプロモーション活動における看護職の役割と機能について考察する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎清水 光子・小田 和美・山本 勝則・渡邊 由加利・菊地 ひろみ・櫻井 繭子・近藤 圭子・田仲 里江

■**授業計画・内容**：

- 第1回 ガイダンス、ヘルスプロモーション活動とは
第2回 成人のヘルスプロモーション
第3回 母と子のヘルスプロモーション
第4回 在宅療養者のヘルスプロモーション
第5回 メンタルヘルスプロモーション
第6回～11回 コース別演習
看護師コース：退院に向けての生活支援演習
保健師コース：実習地域に関する地域診断演習
第12回 看護師コースプレゼンテーション：退院に向けての生活支援
第13回・14回 保健師コースプレゼンテーション：実習地域に関する地域診断
第15回 まとめ

■**教科書**：成人看護学 ヘルスプロモーション／大西和子（ヌーベルヒロカワ）
地域看護アセスメントガイド／佐伯和子他（医歯薬出版株式会社） 保健師コースのみ

■**参考文献**：標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論／奥山則子他（医学書院）
最新保健学講座5 公衆衛生看護管理論／平野かよ子他（メヂカルフレンド社）
ヘルスプロモーション実践の変革／高野淳子（日本看護協会出版会）
ヘルスプロモーションの評価 成果につながる5つのステップ／Hawe, Penelope et al.鳩野洋子他 訳（医学書院）
コミュニティアズパートナー：地域看護学の理論と実際／Anderson, Elizabeth T. et al.金川克子他 訳（医学書院）
ベンダー ヘルスプロモーション看護論／Pender, Nola J, 小西恵美子訳（日本看護協会出版会）
※上記以外のは、授業の進行・内容に合わせて随時紹介します。

■**成績評価基準と方法**：レポート（演習に関連した提出物）60%、授業への参加態度・発表30%、出席10%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
レポート(提出物)	◎	○	◎	演習で定められた提出物を期限内に提出すること。	70
参加態度・発表	○	○	◎	積極的なグループワークへの参加、相手に伝えるプレゼンテーション	30
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護援助論I・II、健康教育指導法、公衆衛生看護技術論、公衆衛生学、保健医療福祉行政論I、保健統計、環境保健、公衆衛生看護学臨地実習I・II

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：ヘルスプロモーションの概念は、年齢、健康レベルを問わず、人々の生活と健康を支援する上での基本的な考え方です。各教員の専門分野におけるヘルスプロモーションの考え方や活動の実際を紹介しますので、コースを問わず履修して下さい。演習は今後の学修や実践に役立つ内容とし、看護師コースは退院に向けての生活支援、保健師コースは公衆衛生看護学臨地実習地の地域診断を行います。